

Okayama Research Park Incubation Center

ORIC NEWS

翔飛

ひし
よう

入居企業紹介 株式会社シー・スリー



株式会社シー・スリー



【会社概要】

私たちは、電子機器や産業機械装置内に搭載される「プリント基板」の開発/設計/製作/を通じて、お客様と共に成長する企業です。

会社名である「シー・スリー」ですが、企業理念である

クリエイション (Creation)

チャレンジ (Challenge)

コラボレーション (Collaboration)

のそれぞれの頭の3つの“C”を以て、シー・スリーとしております。

株式会社シー・スリーは2019年6月に設立し、プリント基板の設計開発を請け負うプリント基板に関するソリューションを行っています。また、設計した基板に関して製造および部品実装を協力企業へ委託しており、お客様が製造面の管理をする必要がなく、弊社にご依頼頂けるだけで全て完結するワンストップソリューションをセールスポイントとしております。

— 本号の主な内容 及び ORIC 連絡先 —

入居企業紹介 株式会社シー・スリー
ハシボード

No.86 (2024.10)

飛翔発行元：岡山リサーチパークインキュベーションセンター
〒701-1221 岡山県岡山市北区芳賀 5303
TEL：086-286-9116 E-mail：info@oric.ne.jp



OKAYAMA
RESEARCHPARK
INCUBATION
CENTER



ORIC HP

入居企業紹介 株式会社シー・スリー

【事業内容】



・アートワーク設計 / 設計検証

顧客と協力し、GHzを超える高周波信号を扱う先端技術向けの基板をCADにて(Altium Designer、Protel98)開発しています。CAD上で設計および検証を実施し、基板製造および3Dデータを作成します。特に3Dデータはお客様とリモートでリアルタイムに回転・拡大縮小した表示画面を共有し、筐体とのクリアランスやコネクタの挿抜等に問題がないかを確認して頂いています。



使用CAD (Altium Designer)による基板設計およびリアルタイム 3D 表示

| 設計実績 | | 基板種別 |
|-------------|--------------------------|------------|
| 代表的な信号名 | | |
| 高速メモリ信号: | DDR2/DDR3/Fully Buffered | 片面 |
| 汎用高速信号: | HyperTransport | 両面基板 |
| 映像伝送用高速信号: | DVI / HDMI / PCI Express | 多層基板(～30層) |
| 高速シリアル信号: | LVDS / Ethernet / USB2.0 | 貫通・IVH 基板 |
| | SATA / SDI | ビルドアップ基板 |
| GHz 帯高周波信号: | RFID | アルミコア基板 |
| | | フレキシブル基板 |



HP

株式会社シー・スリー

設立：2019年6月 代表取締役：鈴木 盛義

HP URL：<http://shi-three.co.jp/>

入居企業紹介 ハシボード

【事業内容】

電子回路を通して、資産を「治す」

例えば生産設備、ビル等不動産の長年使われていた設備で、「電子基板のみ壊れている」場合、ハシボードで修復すれば蘇るかもしれません。

ハシボードでは大手電子メーカーにて電子回路設計を行っていたスタッフが、そのノウハウや電子部品等の商品知識、さらには新規の商品開発を行う際に各種の信頼性評価を行います。また不具合がある場合は改善を行うわけですが、その評価・改善の際の成功事例および失敗事例を生かすことで、幅広く電子基板の修復を行う事ができます。

修復の際には、お客様と打合せを行い、許可を頂いた上で基板をハシボードへ持ち帰り、故障の解析を致します(有償です)。

解析が終了いたしましたら「解析報告書」と御見積書を発行致しますので、その後はお客様のご判断を仰いだうえて、修復を行います。

特に高額設備においては機械部分が頑丈に作られており、長年動作するポテンシャルを持っていますので、電子基板のみの修復で蘇る事例が数多くあります。

電子回路を通して、資産を「作る」

投資を考えました場合、例えば有価証券等による投資もありますが、自社のアイデアを基に商品の開発・販売を行う、こちら側で考察する戦略にて利益を得て行く投資も考えられます。

ただ自社製品となりますと、電子制御部分の設計もそうですが、部品調達、製造工場の確保とそれに伴う原価計算や信頼性評価、場合によっては販売チャンネルなど、一般的に非常にハードルが高く、それゆえに二の足を踏んでおられる場合があると考えられます。

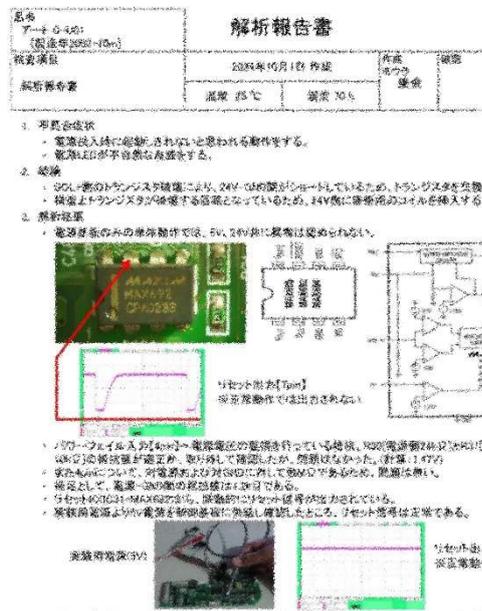
ハシボードでは「お客様のアイデア」さえあれば、企画段階から無料で参加させていただき、企画が成立した後に資金調達に必要な概算見積もりを行います。

その後ハシボードにて電子回路設計を行います。その後に量産電子基板をハシボードより仕入れて頂く事が条件ではありますが、格安にて電子基板の設計を承ります。

なおハシボードでの設計料金には、設計から試作品(数枚)の電子基板の製造料金も含まれております。(仕様変更の場合は別途ご相談となります)

お客様の商品に組み込んでの商品評価テストは基本的にお客様にての作業となりますが、場合によりハシボードへ依頼(有償)して頂けましたら各種テストを代行致します。

また電子部品の確保、製造工場の確保をハシボードで行い、お客様へは「部品」として電子基板を納品いたします。



新たに**自社製品**を作りませんか？

企画を立てます

- ◆ 商品の具体化をします
【概算での単価】

資金集めをします

- ◆ 図面を作成します
【図面完成後に単価確定】

- ◆ 基板を試作します

- ◆ 基板をテストします

- ◆ 量産機製造を始めます

販売を行います

- ◆ の部分は



販売チャンネルがご不安な場合も、ハシボードと連携をしている専門家とご相談なされることで、販売に対するご不安も解消なされると考えております。

入居企業紹介 ハシボード

【研究開発】

ハシボードのスタッフで、兼業農家を営んでいる設計者がいます。そのスタッフは米農家が通常の取引で取り扱う1俵(60kg)よりも、1kgでの小売りをを行うと、約2倍の価格で取引が可能であることに気が付きました。

1俵(60kg)を2kg小袋30袋に、はかりを使って小分けする場合、非常に煩わしく、また時間がかかることが分かり、本業を圧迫するため断念したことがあります。

煩わしいのは「はかりを使っての小分け」であり、この部分を簡便に自動化する装置を購入すれば、あとは道の駅や農協の直売所などで販売すれば良いこととなります。

装置の価格は、スタッフが営農している水田の面積は約3.5反(約3,500㎡)であり、収穫量としては22俵前後、その内10俵を通常通り売却すると約20万円ですが、2kgに小分けする場合は約2倍となるので、装置価格が20万円前後までならばと装置を探しましたが、高額でプラントに組み込む装置は存在するものの、簡便安価なものが存在しませんでした。



そこで、ハシボードのプロジェクトとしては簡便・安価な装置を研究・開発を行えば良いと考え、ORICに入居しプロジェクトをスタート致しました。

装置の構造は、米を装置の上から流し込めば、自動で重量を測定し、設定した重量(例えば2kg)に達したら、シャッターを閉じて計量が完了する非常に簡便な装置です。

現時点において、3Dプリンタを用いた概念外形図、電子基板を用いた概念操作パネルおよび基板の動作に必要なファームウェアまでが完成しています。

ハシボードの業務の性質上、投資の対象としての自社製品開発を標榜しておりますが、現在ハシボードが探しているのが、本装置を自社製品として製造元となって頂く条件にて、本装置の外形を作ることができる業者様です。

ハシボードと致しましては、製造業者様より電子基板の開発費を頂くことで、試作基板を完成させ納品致します。

また量産時におきましては、部品として電子基板を納品いたしますが、小売価格などにつきましては製造業者様にて任意に設定して頂けます。

もちろん、量産までの間にて必要な技術アドバイス、販売アドバイスなどがございましたら十分にご対応致します。



本装置を開発した後、製造業者様が十分に利益をあげる事が本プロジェクトの成功である

と考えております。

【会社概要】

ハシボードは2024年2月に設立致しまして、電子回路の設計および量産技術にかかわる技術をより広く皆様に紹介し、またご活用いただけるよう取り組んでおります。

そのため営業部門を拡充し、ハシボードの技術スタッフとの円滑なコミュニケーションを通じて地域の製造業の発展に貢献致します。

ハシボード

住所：岡山県岡山市北区芳賀5303 ORIC 318号室

TEL：080-5620-2188

代表：橋本 政勝